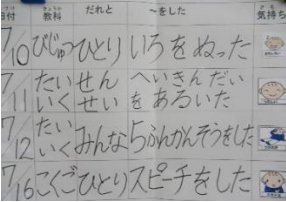



【教材・教具名】 振り返りシート～どんな きもち？～	【教科・領域】 自立活動		
【教材の使用材料】	【購入場所】		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りシート」用紙（A3） ・「気持ちカード」（小）シール用紙 ・「気持ちカード」（大）両面に挟む割り箸 ・ラミネート用紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・百円均一ショップ ・ホームセンター
【ねらい】			
<ul style="list-style-type: none"> ・気持の絵カードを使うことで、周りの人に自分の気持ちを伝えやすくする。 ・感情を表す言葉、語彙を増やす。 			
○使用方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会が始まる前に、一人一枚 A3「振り返りシート」の本日欄に「教科」、「だれと」、「～をした」、「気持ち」の項目に従って言葉を書く。それを教室後ろ壁面に掲示する。 ・帰りの会で、一日の振り返りをするとき、「振り返りシート」と「気持ちカード」（大）を使って、みんなの前で発表をする。 ・ときどき馴染みのない「気持ちカード」を使うことができるよう、教師が例を示すようにする。（例）「体育で、シュートをしたけど、バスケットボールがゴールに入らなくて、くやしかったです。」「数学でお客さんが見に来て、ドキドキしました。」 			
○工夫した所			
<ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちカード」を大きいものと小さいものを用意した。大きいものは、発表の際に使用する。小さいものは、「振り返りシート」に貼り付ける。 ・「振り返りシート」に言葉を書いたり、シートに「気持ちカード」を貼ったりすることで、記録に残し、積み重ねることができる。 			
○効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちカードを自分で選ぶことができるので、振り返りをするとき、楽しく取り組める生徒が増えた。 ・今まで、日記に、「～が楽しかったです。」とよく書いていた生徒が、気持ちカードを使うことで、「～はかんたんでした。」「～はおもしろかったです。」などと使える言葉の語彙が少し増えた。 			
○参考文献・URL			
<p>『視覚シンボルで楽々コミュニケーション 障害者の暮らしに役立つシンボル1000』 ドロップレット・プロジェクト編 エンパワメント研究所 大阪府人権教育研究協議会絵カード 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要, 第20巻, 53-54</p>			